



江刺区

地域に眠る逸品珍品が集結

江刺区藤里3区で39祭を開催

藤里第3区自治会（佐藤利生会長）は11月3日、地区営農生活センターで39（サンキュー）祭を開きました。これは、創刊300号を迎える地区広報「藤和」（懸田悠幸さん編集）や国道397号の完成などに感謝の気持ちを表すため、市活力あるコミュニティ活動支援事業補助金を活用して開催したものです。

後藤新平の書や100年以上前の花嫁衣裳など地域に眠る宝物が並んだ会場には、多くの人が訪れ、当時の生活に思いをはせながら展示品に見入っていました。

地域の宝物に見入る来場者



前沢区

世界遺産候補地の魅力広め

白鳥館遺跡・鮎まつり

ことしで2回目となる白鳥館遺跡・鮎まつりは11月3日、白鳥館遺跡と白鳥地区防災センターで開かれました。北上川産の焼きアユの販売や子ども神楽の公演、やぶさめ行列と弓矢的当て体験などが行われ、会場内は親子連れなどでにぎわいました。

この催しは、イベントを通じて白鳥館遺跡の魅力を広めようと、地域住民やボランティアガイドなどが協力して開催したものです。祭りのスタッフは時代衣装に身を包み、心を込めてもてなしをしていました。

香ばしいにおいが漂っていた焼きアユの販売コーナー



水沢鋳物歴史公園の完成を記念し、看板を除幕

後世に継承する技術と功績

水沢鋳物歴史公園が羽田地区に完成

羽田地区振興会（佐藤建樹会長）が整備を進めていた水沢鋳物歴史公園が完成し、10月14日にお披露目を兼ねた看板除幕式が行われました。地域住民や関係者が見守る中、鋳物太鼓の演奏やもちまきで、新たな憩いの場の誕生を祝いました。

同公園は、伊達仙台藩お抱えの鋳物師、及川重右衛門の子孫、及川宏也さん（73）の所有地を整備したものの。及川さんは「環境保全や、地域への恩返しの気持ちがあり土地を提供した」と思いを語っていました。



大勢の観客の前で舞い踊る都鳥鹿踊

胆沢区

信州の地で勇壮な舞を披露

都鳥鹿踊が獅子舞フェスティバルに出演

第13回全国獅子舞フェスティバルは10月31日、長野県飯田市の市街地で開かれ、胆沢区南都田の行山流都鳥鹿踊保存会（高橋勇人会長）が出演しました。

今回の出演は、過去に同保存会が飯田市の祭りに出演したことが縁となって実現したものです。全国から44団体が集まる中、鹿踊りの勇壮な舞を披露し、沿道に詰め掛けた観客を魅了しました。高橋会長は「重厚な踊りを全国にPRできた。独特の装束は珍しく、かなり注目を浴びたと思う」と手応えを感じていました。

水沢区

笑顔でつながる30年の歴史

寺子みんなが力を合わせて記念壁画を作成



ついに完成した巨大な絵をバックに記念撮影

夏の恒例行事である水沢の寺子屋事業の30周年を記念し、10月10日に水沢体育館で秋の寺子屋まつりが開かれました。

ことしの夏の寺子屋で、子どもたちが折り紙を切り張りして絵のパーツを作成。そのパーツを組み合わせることで大きな1枚の絵をつくろうという企画です。原画は30周年記念事業運営委員会の中高生が考案しました。完成した絵は、横7.2m、縦2.4m。張り付けたパーツの総枚数は27,648枚という超大作です。

当日までデザインを知らされていなかった子どもたちは、完成した絵を見て「大きい！」「こんな絵になるんだ！」と驚きながら、うれしそうな表情を浮かべていました。

前沢区

17年ぶりに前沢牛が日本一

阿部育男さんが名誉賞を受賞

平成22年度全国肉用牛枝肉共励会が10月29日、東京食肉市場で開かれ、前沢区の阿部育男さんが出品した肉用牛が名誉賞（日本一）に輝きました。前沢牛の名誉賞受賞は17年ぶり5度目。全国の名だたる銘柄牛が出品される中、市内から阿部さんのほかに3人の生産者が入賞しました。

見事日本一に輝いた阿部育男さん



名誉賞を受賞した肉用牛は、枝肉重量519kgの去勢和牛。最上級のA5ランクに評価され、461万円もの値が付きしました。阿部さんは「今回の受賞は、いろいろ助言してくれた肉牛部会の皆さんのおかげ」と感謝していました。



観客を圧倒した大迫力の団体戦

衣川区

人馬一体の妙技に拍手喝采

古戦場を舞台に奥州やぶさめ合戦を開催

NPO法人天遊塾（高橋厚会長）が主催する奥州やぶさめ合戦は10月31日、東北ニュージランド村前の特設会場で開かれました。北は青森、西は大阪から集まった腕自慢の射手が、疾走する馬に乗ったまめを射抜く妙技を披露しました。

ことしは、3騎の騎馬が一斉に駆け抜ける団体戦を初開催。合戦の騎馬隊を思わせるような大迫力の姿に、雨の中集まった大勢の観客からは、拍手や歓声が巻き起こっていました。